

二次評価の評価方法について

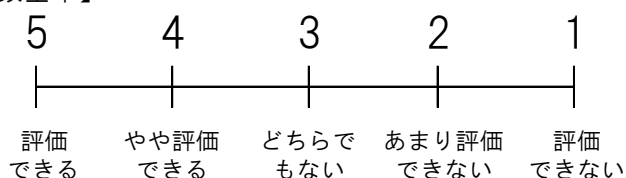
(1) 評価手法

手法		内容	
判定評価	「施策の目標(めざすべき10年後の姿)に向けて進捗しているか。」について施策ごとにA~D判定を実施	A	「順調に進捗している」
		B	「概ね順調だが、一部課題・懸案事項がある」
		C	「進捗がやや遅れており、改善を要する」
		D	「進捗が遅れており、全体的に改善を要する」
意見	判定評価の要因や今後の取組における助言等、幅広い意見を提示	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価(点数化)において重視したポイント ○ 評価できる点、改善が必要と思われる点 ○ 当日の質疑を踏まえて事前評価から変更した点、ポイント ○ 施策の目標における指標の妥当性 (行政評価制度全般に対する意見、基本計画改定に向けた意見)	

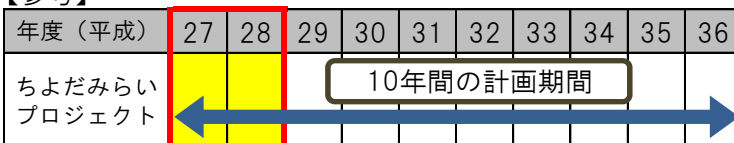
(2) 判定評価における評価方法

- 一次評価を基に下記項目について各視点に沿って平成28年度末時点の成果等を採点(各5点満点)
- **各項目の合計点数の割合により、施策の進捗度を評価判定(裏面「判定基準」を参照)**
- 分科会の最終評価の際は議論を踏まえて各委員が採点した点数を合計し、その点数割合で判定

【点数基準】



【参考】



【評価の項目・視点】

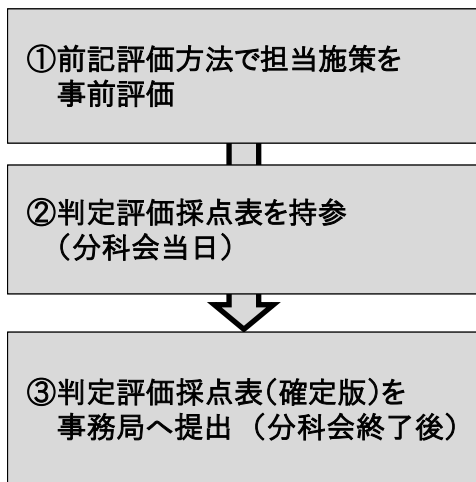
①「主な取組み」 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の取組みについて適切に実施されているか。 ○ 個別の取組みについて成果が上がっているか。 	左記項目について平成28年度末時点の成果としての点数を採点(上記点数基準による)
②「指標」 (5点) ※指標未調査の場合は採点しない。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画通りに指標が達成・進捗しているか。(指標の達成分析も含めた評価) 	左記項目について平成28年度末時点の成果としての点数を採点(上記点数基準による)
③「今後の方針」 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一次評価全体を通じて施策の目標(めざすべき10年後の姿)達成に向けた今後の方針は適切か。 ○ 現在の人口規模を踏まえた今後の方針としても妥当であるか。 ○ (区民アンケートにおける)満足度・重要度を踏まえた方針を示しているか。 	左記項目について平成29年度(3年目)以降に向けた方針としての点数を採点(上記点数基準による)

【判定基準】

評価	上記項目による 点数の割合 (合計点数/満点)	【参考】1人が採点した場合の合計点数	
		指標結果あり (15点満点)	指標結果なし (10点満点)
A	83%以上	13~15点	9~10点
B	64%以上83%未満	10~12点	7~8点
C	37%以上64%未満	6~9点	4~6点
D	37%未満	3~5点	2~3点

(3) 評価の流れ

評価全体の流れ



※判定評価採点表(一覧・個別)に記載

※判定評価採点表(個別)については
「施策の目標」ごとに記入

分科会当日の流れ



※各委員は事前に評価したうえで、質疑を踏まえて評価を修正し、報告することも可能

※分科会での評価後、第2回全体会で二次評価として確定